出版活動翼化のための全国的カンパニアを組織せよ

全国の支部、支準配宣部の同志諸君！

全国の読者諸君！

諸君はコップをはじめ加盟各団体の諸々の出版物に於て、出版活動に関する諸問題が今日ほど切実に大衆の関心の的となり、精力的に何物かが提起されて居るのを、曽て知らないであろう。

戦争と革命の新たなる過渡期への飛行と共に死滅しつゝある自己階級の最後的血路として人民大衆の流血と飢餓の犠牲の上に、天皇の名に於て対支殖民戦争を強行し、東支鉄道強奪をたくらみ、人民大衆の一切の自由を以て治安維持法の改悪をたくらみ、人民大衆の一切の政治的権利を剥奪し、前衛の肉体的絶滅を制度にまでたかめ、言論、集会、出版、結社の自由の最後の一片をも奪い盡すことにより、中世的恐怖暗黒政治を築しつゝあるのだ。実に彼等はなくの如き暗黒の裡にのみその権力と維持することが出来るのである。ヂオにより、日々の新聞によりその他凡ゆる文化機関によって報道され宣伝されてゐるものは、たゞ自己階級の利益のためにであり、怒濤の如くたかまりつゝある階級闘争の現実の歪曲、黙殺、前衛に対する悪意に満ちた中傷と虚構をまきちらすことに尊うウキミをやつしてゐる、かゝる今日の日本に於て、学に人民大衆の間に真実を伝へ、右手で報道戦争と指揮した手で法案と飢餓の中へ我々を突き落そうとする天皇の「神聖」をバクロし、排外主ぎ的忠君愛国主義の宣伝、天皇主義支配の強化と闘うための武器としてのあらゆるアルカヨリ的文化藝術、音楽の反動性、常識性をバクロし、詐欺と瞞着と暴力とを以て全面的に支配階級に奉仕してゐる社会ファシスト的文化藝術、音楽の欺瞞をバクロし、これらのすべてを通じて「天と土地と自由のための人民革命」に準備する多数者獲得の課題に応へることは、一に我々の出版活動の大衆的ボリシェビキ的翼化にまつことをなくしては不可能である！

然るに我々の今日迄の出版活動は諸君の知る如く、甚だしく不充分であり、甚だしく未熟であり、甚だしく貧弱であり、いまかゝる状態の克服に立ち向はないなら、我々は広汎な政治斗争の一部隊としてのその任務から取り残され、バク進しつゝある我がプロレタリアートの陣営に於て全く意味なき存在となるであろう！

我々はこの意味に於て我々の出版活動が真に大衆の手によって防衛され、確保されるために出版防衛二〇〇円基金カンパニアを提起したのである。この力ンパニアの成功的達成のために左記の割当に従い所定期間内に最高度に精力的な活動が展開されねばならぬ。

割当	東京支部	六〇円
	大阪支部	三五円
	京都支部	三五円
期間	九・一五 ― 一一・一五	
	神奈川支部	四〇円
	上田支準	三〇円

各支部、支準は直ちに基金帳を作製して行動隊を組織し、各読者は一人で三人の人間に対して、各種類の大衆的会合で、サークルで、ビラで宣伝し、或は進歩的書店、図書館、読書会、思想家、学生を訪問して説得し、広汎な範囲に渉つてその大衆化のために努力せねばならぬ。何ら実行せずして徒らに静観し、或は人選主義的イデオロギーを以てサボタージュを合理化する如きは断じて許さるべきでない。

次に出版活動の恒常的財政的基礎となるべき醵金の急激を徹底的に整理せねばならぬ。出版物を泥棒読みすることは我々の活動を妨害し、その成果を破壊する以外の何ものでもないのだ。最近の出版物のみについてみても滞納紙代はたの如き額に上つてゐる。

赤旗誌プロレタリア音楽未納誌代　前哨の歌　仝

直接読者	上田支準	神奈川支部	京都支部	大阪支部	東京支部
合計	二・八三	二・八〇	二・八〇	二・〇	七・一
十七・三四	二・八三	二・八〇	二・八〇	二・〇	七・一
六・六二	一・四二	一・四〇	一・四〇	一・〇	三・五一

統線　二十四円〇二銭

右の統計の如くもすでに我々は直ちに教育誌と印刷し、ビラ本誌と名刻刷で出し、訓練の欲とパンフレットすることが出来るし、或は直ちにレコード吹込みをすることすら出来るのだ。各支部・支準は右の統計を基礎のための日常的な教育活動の方法を講じその責任を果さねばならぬ。従来組織はその一人一人が統一を組織することによる場合、我々の活動が始めから此の困難にぶつかるように計画的に組織的に組織のまま思考すべきである。

更に配置方法のポリシー化のために、可能な限り重点に集中するように、教育訓練の確立を図ることが必要である。

主組織する機構となればならぬ。各支部・支準配置部は各々の条件に基く部署の政治情勢を判断するために常にその動きを掌握し、読者網拡大のための宣伝活動と日常的計画的に進行することが必要である。配置方法の強化、うその少数な出版物を数の強敵からかち得るであろう。

大衆基金活動の大衆化　大読者倍加　大活動記事の積極　大配置方法のポリシー化

スローガン・標語・元気に行かう！

一九三八・九・一。

日本プロレタリア音楽同盟出版部